
テストは一週間後

未知

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

テストは一週間後

【著者名】

ZZマーク

N43335N

【作者名】

未知

【あらすじ】

「一週間に国語・算数・理科・社会、4つのテストがあります」

担任の小林先生から言われた一言。

そこから始まつていいく・・・

少年探偵団中心のstoryで、テストや勉強の話。

「メモリーです。

一週間の有余（前書き）

今回はセツツの前に誰が言つてこのか解るよつじました。

一週間の有余

「帝丹小学校1年B組」

小「一週間後に国語・算数・理科・社会、4つのテストがあります。

ク「「ええ～～～～～！」！」

「」のクラスの担任である小林先生の一言で子供たちは一気に騒ぎ出す。

光「正直、めんどくさいですね・・・」

歩「やだなあ～」

勿論それは、元太・光彦・歩美・・・

少年探偵団も例外ではなかった。

コ「テストね～」

哀「あら、随分と自信満々だこと

「おこ……オメーなあ……」

哀「ふふ……100点とれなくとも知りなにわよ」

口「……そのせつづ、そつくのまま返してやるよ」

哀「あひ……私に喧嘩を売つてゐのかしら?」

口「やあな?……つかオメーもだろ?」

哀「私は一応大学も卒業してゐるのよ?間違つはずないでしょ」

口「……上等だな。俺もこれでも高校生やつてたんだぜ?」

哀「・・・過去形なのね・・・」

「うるせえーー！」

皆が不満を言いつつ中、コナンと哀は静かに会話をしていた。

偽小学生一人は自信満々であり、余裕の笑みを浮かべているのであつた。

小「あと、今日は順位も付きますからね？皆頑張りましょうー！」

・・・決定は決定

いくら言つてもテストがあるのは変わらないのである。

・・・そう小林先生の瞳が言つているように感じる。

その瞳に気がついたのはコナンと哀だけだった・・・

元「はーあ・・・テストかあ・・・」

光「頑張るしかありませんね」

歩「この一週間は勉強ね!」

学校が終わった帰り道、テストに嘆く元太と、気合を入れている光彦・何かを決心したような歩美の姿があった。

「ナンと哀と別れた三人は、テストのことばかり考えていた。

歩「少年探偵団は頭良いと思わせないとねー。」

光「そうですねー。」

元「マジでやんのかよ?」

歩光「マジだよ(です)ーー。」

彦

・
・
・

それから一週間、探偵団をやらないで必死に勉強する歩美と光

あくまでのんびりと授業中に寝たり本を読んだりしているパン

小学一年生が見る本ではない、英語で書かれた本を読む哀

いつもと変わらない元太・・・の姿が見られた・・・

テスト当日～算数・社会～（前書き）

今日はテスト当日ー！

算数と社会編です。

帝丹小学校一学年の児童だけは黙々とテストに取り組んでいた。

（～1時間目・算数～）

「（うわ～何だこれ・・・小一の問題も交じってやがる・・・何考
えてんだ？）この教師たちは・・・まあ簡単だけどな～」

哀（あらへ）れ小一で瘤つむのじやなかつたかしら～まあ簡単だわ（

歩（あれ・・・？）れ習つてないよね？でも確か・・・こいつすれば
良かつたのかな？）

光（これ・・・習つていませんよね？でも一応やつておきましたか
ら解けます！）

元（まったく解んねーぜ！）

45分間のテストをものの8分で終わらせたコナンと哀。

二人に比べれば時間はかかってしまったが、30分後に光彦・
その1分後に歩美が終わらせた。

算数は小一で習う単元もあり、その他の者は悩んでいた。

元太もその一人・・・

□（うんうん・・・簡単だな）

（2時間目・社会）

哀（・・・簡単ね）

ものの10分で終わらせたコナンと並ぶ。

コナンはそのまま夢の中へ・・・

小「・・・・」(せ、せ・・・)

そんなコナンに何も言えない担任・小林先生・・・

歩（よ～し～できたーーー）

30分後に歩美が終わらせ・・・

光（社会は苦手なんですね・・・）

歩美から5分遅れの35分で光彦もクリア。

四人は終わつたと思っているが、もちろん、社会にも小二レベルの問題があつた・・・

テスト当日～理科・国語～

（3時間目・理科）

算数・社会が終わり、小一レベルの問題があることに気がついたのは、

全クラス中、「ナン・哀・歩美・光彦の四名だけだった。

歩光（（たぶん、次の理科も小一レベルの問題があるはず（です）・
・・））

小「初めて」

カサツ

一斉に問題に取り組む児童たち。

しかし・・・少したつた頃・・・

鉛筆の持つ手が止まつていく者が続出。

その理由は、出された一つの問題。

「これには流石にコナン・哀・歩美・光彦も一度手を止めた。

哀（いや、これ……小学二年生……しかも応用よ……こんなのが、
小学一年生の彼らには無理よ……）

驚きを隠せない喪。

問題も難しうに驚いているのではない。

小学一年生の彼ら小学三年生レベルの問題を出題する教師たちにてある。

「おいおい……」いやねーだ。ほんとに何考えてんだ? 教師あい
たち・・・

「ナンも」ればかりは教師を疑う・・・が、普通に問題を解く一人は余裕の表情であった。

「(うつやー次の国語も小三レベル出てくんじゃねーか?)

哀（国語も楽しみだわ）

10分で終わらせる。

その表情は、一番笑顔であった。

歩美と光彦は小一よつ上、つまり小三レベルである」といはず

その一方で、残りの少年探偵団は「なぜか・・・?

歩(な、何これ。小一レベルならまだ解けるけど・・・それより上
なんてムリだよー!)

光(これ・・・小三レベルですか・・・?小一までもなら何とかなり
ますけど・・・流石にムリです!—)

がつこたもの、やままでせめていなかつた。

理科のテスト終了後・・・

光「歩美ちゃん。5の問題解りましたか?」

歩「うん。4の小一問題ならあんとか解けたけど・・・5はわづぱり・・・」

～4時間目・国語

口説（（は・・・?））

歩光（（えつ！？））

国語はちやつかり小三の漢字が出題されていて、コナンと哀は驚き、歩美と光彦は呆然・他の者は書いていない漢字に焦っていた。

漢字の後にも難問（小一にとって）の文章読解問題が出題されていたりと悪戦苦闘。

「（歩ここおこ……）

哀（何じてるのかしら？小林先生……）

歩（…………難しいよ~~~~~！…）

光（…………難しいですね。…………でも……）

「ナン・哀は難問（小一ひとつ）もサラッと解いてしまって
0分で終わらせた。

歩美はもともと国語は苦手なため、空欄がありまくり……

光彦は両親が教師であり、言葉遣いや漢字などは厳しく鍛えられたため少し苦労したがすべての問題が埋まっていた。

元太は2割ほどしか埋まっていなかつた・・・

その後、この日は給食を食べ下校となつた。

今田みゆ。田羅田。

つまり明日は土曜日で休みである。

小学生・・・

しかも一年生とくれば・・・

遊ぶのが基本だね！。

それからサッカーをして、コナンたちは皿の家へと帰ったのは六時過ぎであった。・・・

テスト箇所（前書き）

今回も短めです。

テスト返却日

月曜日

今日は待ちに待つた（一部待つてない者もいるが）テスト返却日である。

1年B組のクラスメートもワクワクしているのがよく判る。

小「じゃあ今からテスト結果を返します。名前を呼ばれたら返事してね?」

ク「「「はーーい！」」

「娘、「…………」

娘が元気よく返事をしてくる中、無反応な者が若干一割。

むわむわがな、コナンと娘の偽小学生コナンである。

既にコナンは夢の中へと旅立っていた。

哀「江戸川探起きなやこ」

「ふあ？？？ああ、どうかしたのか？灰原……」

哀「これからテスト返しがあるから起こしたのよ」

「……ああ……もつ返つてくんのか？」

哀「ええ……」

「「あ、まこ・・・」

「ナン」と哀が喋つてこの間コレスト返し始めた。

歩「コナン君ー・どうだつた?」

席へ戻つてきたコナンはひざをへせた悲美。

「「え?ああ、まだ見なこでねー顔もーー」

歩「じゃあ、まだ見なこでねー顔もーー」

「光」「へ・・・?」

哀「なぜかしら?」

歩「皆で一斉に見た方が面白いじゃんーー!」

「哀光」「へ・・・ああ・・・なるほど・・・?」

小「小嶋君」

元「はい！」

次々と名が呼ばれていく・・・

小「円谷君」

光「はい！」

小「灰原さん」

哀「はい」

小「畠田さん」

歩「はーー..」

小「じゃあ1時間目の準備をしましょー..」

小林先生はクラスメート全員に紙を配ると、やつ言い教室を後にした。

テスト返却日（後書き）

たぶん、次でラストだと思います。

結果

小林先生が去った1・B教室内では、結果を見て喜ぶ者・見せ合つ者たち・残念がつている者の姿が見られた。

コナンたち、少年探偵団は2つ目にあたる。

丁度今、五人がコナンの机に集まっている。（元々五人の席は近い）

各自の結果を見せ合うため。

そして五人自身も自分が何位なのか、何点取れているのか判らない。

歩「じゃあ一斉にいくよ? セーのー!」

バッ

一斉に机の上に置かれた五枚の紙。

その結果は・・?

元太 国語 21・算数 26・理科 32・社会 39
40人中20位

歩美 国語 97・算数 100・理科 95・社会 100
240人中4位

光彦 国語 100・算数 100・理科 95・社会 100
0 240人中3位

コナン 国語 100・算数 100・理科 100・社会 100
0 240人中1位

哀 国語 100・算数 100・理科 100・社会 100
0 240人中1位

100・理科

100・社会

10

歩「光一...」

元「マジかよ...」

光「さすがですね...」
「ナン君・灰原さん」

口「光彦もすげーじゃねーか」

歩「やつたあー! 勉強してよかつたよ」

哀「そういえば、一週間・・・」

歩「うんー、一週間は勉強してたよーー。」

光「そういえば、小一レベルの問題ありましたよね?」

口「ああ、小二のやつもあったぜ」

歩「そういえばー、あれって何の為だったのかな?」

元「そんなのあったか?」

光「ありましたよーー。」

哀「そうね。テストなら一年生の問題だけでいい筈だわ」

口「俺も疑問に思つてた・・・。小一・小三レベルなんて普通解け
ねーだろ?」

哀「あら、江戸川君は解けてるじゃない」

口「バーロ。それを言つたらオメーも歩美ちゃんも光彦もだろ?」

結局、何のために小一・小三レベルの問題があつたのか分からぬま
ま、一時間目の始まり時間となつた。

キーングーランカーンゴーン

小「じゃあこれから一時間田をはじめます」

田直「規律、礼」

ク「「「お願いしまーす….-.-.」「」「」

始まつた一時間。

コナン・哀にとつては退屈な内容。

光彦と歩美もすべて分かっているため、退屈な表情である。

しかし、この授業でテストのやつた意味が分かるとは・・・

- しかもその内容が後にコナン・哀・歩美・光彦にまわっていくとは・・・

まだ知らない。

授業も終わりに近づき、
残り5分。

小「あ。既に連絡があります」

小「気が付いている人もいると思いますが、さつき返したテストは
小一・小三の問題もありました」

ク「「「「ええ～～～～～～～～～～～～～～～～～～」」」」

小「実はあのテストは、昨年からやっている『帝丹小学校クイズ大
会』の一学年代表を決めるためのものです！～」

ク「「「「～～～～～？」」「」」」

「歩哀光（（（何か嫌な予感がする（わ）（します）・・・・・）））

小「クイズ大会は4人1組で行われます。よつて、あのテストの上位4名の人代表として出場することになります」

「哀歩光」「「「...!-!-?」」」

「（なに～～～！-!-）

哀：

歩（ウソー？）

光（！？）

口歩光（（（ひじりせ・・・）））

口（出場するのは俺と歩美・光彦・灰原・・・）

哀（私と江戸川君・芦田さん・田谷君が出場することになるのね）

歩（私と口ナン君・哀ちゃん・光彦君が出場つてことかな・・・）

光（出場するのは僕と歩美ちゃん・口ナン君・灰原さんの四名です）

か・・・)

小「普段は4人はクラスバラバラなのですが、今年は上位四名がこのクラスに集結しています！！」

ク「「「「うそ～～～～～～～～！」！」！」

小「1位が江戸川君と灰原さん、3位が円谷君、4位が吉田さんです！！」

クラスメート全員が一斉に4人のほうを向いた。

「哀志光（（（めいしひつ・・・・・）））

小「では江戸川君・灰原さん・田谷君・吉田さん、よろしくね」

光「先生・・・」

小「何? 田谷君」

光「そのクイズ大会いつ行われるんですか?」

小「えっと・・・2週間後の11月17日、水曜日に行われるわ

光「分かりました」

口（マジかよ・・・）

哀：・・・

歩（いじなつたら・・何が何でも優勝するよーー！）

光（頑張るしかないですね・・・）

こうして、コナンたち四名の『帝丹小学校クイズ大会』の出場が決
まりた・・・

END

結果（後書き）

後書き

これで完結です

『帝丹小学校クイズ大会』はまた別の話として連載してきます。

読んでくださった方、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4335z/>

テストは一週間後

2011年12月25日21時50分発行